

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【公表番号】特表 2016-500770 (P2016-500770A)  
 【公表日】平成 28 年 1 月 14 日 (2016.1.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-003  
 【出願番号】特願 2015-540244 (P2015-540244)  
 【国際特許分類】

D 0 6 M 10/00 (2006.01)

D 0 6 M 11/34 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 10/00 K

D 0 6 M 11/34

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 10 月 18 日 (2016.10.18)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

自然の太陽光に晒された布製品に通常伴われる特徴的な匂いを布製品が与えられるように該布製品を処置する方法であって、処置されるべき布製品を筐体の中に配置するステップと、前記筐体の中に配置された前記布製品に、280nm と 320nm との間の波長を持つ紫外光、及び 320nm と 400nm との間の波長を持つ紫外光を照射し、所定の放射露光に晒されるようにするステップと、を有する方法。

【請求項 2】

前記所定の放射露光は、少なくとも  $12 \text{ kJ} / \text{m}^2$  であり、好適には少なくとも  $18 \text{ kJ} / \text{m}^2$  である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

第 1 の所定の期間の間、280nm と 320nm との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射し、280nm と 320nm との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射した後、第 2 の所定の期間の間、320nm と 400nm との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射するステップを有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

280nm と 320nm との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射し、同時に 320nm と 400nm との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射するステップを有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 280nm と 320nm との間の波長を持つ紫外光と、前記 320nm と 400nm との間の波長を持つ紫外光と、の間の強度比は、1 : 2 と 1 : 30 との間であり、好適には 1 : 4 と 1 : 30 との間である、請求項 3 又は 4 に記載の方法。

【請求項 6】

0.02ppm と 0.2ppm との間の濃度のオゾンを、処置されている前記製品の近傍に供給するステップを更に有する、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

自然の太陽光に晒された布製品に通常伴われる特徴的な匂いを布製品にもたらすよう該

布製品を処置するための装置であって、処置されるべき布製品を受容するための筐体と、コントローラと、紫外光を布に照射するための紫外ランプと、を有し、前記コントローラは、 $280\text{ nm}$ と $320\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光、及び $320\text{ nm}$ と $400\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光を前記布製品に照射し、前記布製品が所定の放射露光に晒されるよう前記紫外ランプを制御するように構成された装置。

【請求項 8】

前記所定の放射露光は、少なくとも  $12\text{ kJ/m}^2$  であり、好適には少なくとも  $18\text{ kJ/m}^2$  である、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記コントローラは、第 1 の所定の期間の間、 $280\text{ nm}$ と $320\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光を、及び第 2 の所定の期間の間、 $320\text{ nm}$ と $400\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光を、前記布製品に、同時に又は互いに後続して照射するよう、前記紫外ランプを制御するよう構成された、請求項 7 又は 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記コントローラは、前記  $280\text{ nm}$ と $320\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光と、前記  $320\text{ nm}$ と $400\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光と、の間の強度比が、 $1:2$ と $1:30$ との間となるよう、及び好適には  $1:4$ と $1:30$ との間となるよう、前記紫外ランプを制御するように構成された、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記筐体は、入口と、出口と、前記入口を介して前記筐体に空気を引き入れ、前記出口を介して前記筐体から空気を引き出すよう構成された、少なくとも 1 つのファンと、を有する、請求項 7 乃至 10 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 12】

前記出口を介して前記筐体から出る空気中の前記装置の周囲の領域に荷電粒子が分散されるようにするプラズマ又はイオン生成器を有する、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

$0.02\text{ ppm}$ と $0.2\text{ ppm}$ との間の濃度のオゾンとを、処置されている前記製品の近傍に供給するオゾン生成器を含む、請求項 7 乃至 12 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 14】

前記筐体の内部は、複数の紫外線反射面を有する、請求項 7 乃至 13 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 15】

自然の太陽光に晒された布製品に通常伴われる特徴的な匂いを布製品にもたらしよう該布製品を処置するための装置であって、前記装置は、処置されるべき布製品が配置されたワードローブのような空間内に配置可能であり、前記装置は、コントローラと、 $280\text{ nm}$ と $320\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光、及び $320\text{ nm}$ と $400\text{ nm}$ との間の波長を持つ紫外光を前記装置のなかの空気に照射するための紫外ランプと、前記照射を受けた空気が筐体へと送られるように前記装置を通る空気の流れを生成するためのファンと、を有し、前記コントローラは、前記装置を通る空気が所定の放射露光に晒されるように前記紫外ランプを制御するよう構成された装置。